

## 甲州古道の歴史

「甲州街道」は、古くは「甲州海道」あるいは「甲州道中」との呼び名もありました。ここでは「甲州街道」という表現に統一し、甲州街道の昔の道を「甲州古道」と表記しています。

甲州古道は、江戸時代以前から地域の人々の生活や交流の場として整備されました。江戸時代に幕府が甲州古道を五街道の一つとして整備した後においては、金を産出していた甲州に向かう「金の道」として発達し、また、西国の反乱から江戸を守る軍道としての役割も果たしてきました。

※甲州街道は古来より、ルート変更等が繰り返されていますが、この案内図で表現されている「古道」は主に江戸時代に制定された甲州街道を中心記載しています。そのため、本古道案内図記載以外のルートも甲州古道である場合がございますのでご了承ください。

# 甲州古道案内図

藤野編

KOSHU-KODO



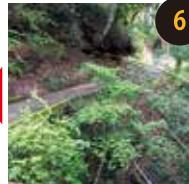
写真協力：郷土資料館「ふじや」



国道20号へ出て、西へ。すぐに「吉野宿本陣跡」に向かいに「ふじや」がある。



道に出て下り、陸橋を越え国道へ出る角には、高札所跡と六地蔵がある。



短い区間だが、下に川の流れる橋を渡り、雰囲気のある山道を歩ける。



寺近くの「桜野」の道標の角を右に下だり、すぐの「矢部」の道標の階段を降りる。



「門戸(くぐど)」の道標の立つ道に出る。左に行くと観福寺がある。



「赤坂」の昔の雰囲気の残る古道。一面に石畳が敷き詰められていたそうだ。



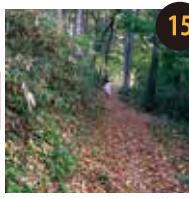
中央自動車道の橋を渡りさらに下ると右斜め下方、草の生い茂る小径へ入る。



橋沢「子の入」を左に下る。右手の細道の先には四宿合同馬頭観音がある。



関戸の渡線橋。これを渡り国道を越えると本陣跡の説明板がある。(歩行注意)



特にこの辺りは、古道の雰囲気が満喫できる。



JR中央線、中央自動車道に沿いながら、進むと途中から趣きのある自然道になる。



下り坂道の先に見える弁天橋の手前の道を右折。



藤野駅から下り国道20号へ。すぐに左に下る道があるので、降りていく。



藤野中学校の角を曲がり、正門前の道を線路沿いに藤野駅まで向かう。



さらに進んで吉野橋を渡り、右手にある電気店の前の細い登り道へ入る。



「吉野宿本陣跡」吉野宿は道の中でも有数の宿場街で、遊郭もあり賑わった。



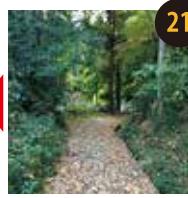
境川橋を渡らず、手前の道をUターンのように右折、上野原へ入る。



国道の左側歩道を進み「名倉入口」の信号を左斜め下に下る。



古道は左崖下を川に沿って下っていた。途中、獅子岩、衣が滝、茶屋があった。



この坂道もかつては石畠だった。国道に出たら注意して横断、歩道を歩く。(歩行注意)



右手の旧小渕小学校を過ぎてすぐ、左斜め下に下る細い坂道がある。



陸橋からすぐの分岐を右へ上がる。



陸橋を渡り、左手に進む。陸橋の約50M手前には増珠寺がある。(歩行注意)



渡線橋を渡らず、左手の道へ進むと、国道に架かる陸橋まで出る。

**甲州古道を歩くには** ◆ 雨具の用意を必ずすること ◆ 飲み物とおやつ(弁当)は必ず用意する ◆ トイレなどはあらかじめ確認する ◆ 国道沿いは歩道もない所があるので要注意



